

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0906
東京都 八王子市北野町575-22
並木 真 TEL : 090-4314-3044
Fax: 042-649-5276
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2023年9月

The Service Club of The YMCA

第339号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長 並木 真
副会長 久保田 貞視
書記 小口 多津子
会計 長谷川あや子
直前会長 花輪 宗命
担当主事 菅野 牧夫
ブリテン 山本 英次 茂木 稔
大久保 重子

国際会長 ウルリック・「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
あずさ部部長ラウリドセン（デンマーク）主題「輝かそう、あなたの光を」
スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子（川越） 主題「変革のための光となろう」
スローガン「親睦を通して、輝き、力を得よう」
東日本区理事 山田 公平（宇都宮） 主題：「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
スローガン 森本 俊子（長野） 主題「よい結果をもたらす心の安定と考える力を」
～面白いと思えることを再発見しよう～
八王子クラブ会長 並木 真 主題「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！

9月例会プログラム

(担当:B班:並木真、花輪、望月、久保田)

日時:9月9日(土) 18:00~20:00

会場:北野事務所 2階大会議室

受付:花輪、望月

進行:久保田

開会点鐘 並木真会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジターの紹介 並木真会長

聖書朗読・食前の感謝 並木真会長

卓話:「日本の国際貢献を知る」

卓話者:東京農工大学准教授 横森佳代先生

東京YMCA 報告 菅野担当主事

報告・連絡事項 会長・各委員

スマイル(山中湖センター100周年記念 キャンプ) 望月

ハッピーバースデー(大久保メン) 並木真会長

ゲスト・ビジターからの一言 並木真会長

閉会点鐘 並木真会長

八王子クラブの「直前会長感謝会」

巻頭言

小口多津子

8月19日(土)にJR八王子駅前の居酒屋で、夏の恒例の直前会長感謝会を持ちました。出席者は、ほぼ全員とゲストにユース事業直前主任の衣笠輝夫さん、福田勝江さん、ひつじぐもの学生さん3名。そして昨年度の会長、クラブの花でした花輪宗命さん。真ん中の席に着

先月の例会ポイント (8月)

在籍	13名	切手	0g
		22~23年度	計1698g
メン	12名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	92%	スマイル	14,000円
メネット	2名	累計	27,930円
ゲスト	2名	オークション	0円
ビジター	0名	累計	0円
ひつじぐも	3名		

今月の聖句(2023年9月)

こうしてイエスは弟子たちの足を洗うと、上着を着て、再び席に着いて言われた。「私があなたがたにしたことが分かるか。あなたがたは、私を『先生』とか『主』と呼ぶ。そう言うのは正しい。私はそうである。それで、主であり、師である私があなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合うべきである。私があなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、模範を示したのだ。(新約聖書・ヨハネによる福音書13:12~15)

かれた時から、とても恐縮されていて、会の最後まで“感謝会で感謝するのは私の方で”と何回もつぶやいておられました。並木真会長からの感謝の言葉、真会長が選ばれた記念品(由緒ある夫婦箸)を贈呈されて、皆さんからの感謝の言葉に溢れた会でした。花輪さんは、間に1年の山本英次さんの会長を挟んで、連続に近い会長職でした。昨年はコロナ8波もあって、お得意の他クラブ訪問があまり実現できなかったことが心残りとのこと、チャリティーコンサートも中止でした。私が一番に花輪会長で大変だったのではと思うことは、昨年と今年の2年



間、ワイズのユース事業委員会主催の海外へのユースコンボケーションへ送り出す「ひつじくも」の学生(中央大学学Y)さんへ、会長が書く推薦状だったのでと思います。昨年はタイのIYCに2名、今年6月に推薦が決まった

ネパールへのAYCに5名と推薦書を書かれました。学生は強い意志で、目的も持って参加を立候補しますが、その学生さんの志を理解されること、それこそ大学教授のご経験での真利ではと思いましたが、それでも7名分は大変なことでした。

花輪さん持前の柔らかさで励まされて、一步前にと背中を押された学生さんは、お仕事上でも数多かったのではと思いました。今年のアジア・太平洋地域ユースコンボケーションの標語は、「Shine Together, Grow Stronger」です。まさに花輪さんがよく口にされる内容ではと思います。

宴会の半ばで、菅野さんのゲームが一つありました、



座ったままで出来る、グループの連鎖ゲーム、久しぶりに大声で笑って、本当に楽しい

ものでした。童話の桃太郎の物語を、隣の人を予想しながら絵で完成。まさか、まだ私達の年齢では、浦島太郎と話の交差するミスはありませんでした。(作品絵は花輪さん)

少し調べてみましたら八王子クラブの感謝会の歴史はというと、始めは2000年8月にセミナーハウスで前年度会長の久保田さんへ調さんからのお祝い。2001年は調さんへ橋本会長から、この年はメネット会長だった並

木雍子さんへの感謝もありました。メネット会が最盛期の時でした。また、8月に浅川河川敷でバーベキューをした時もありました、今より涼しい夏だったのでしょう。

直前会長感謝会御礼

花輪宗命

八王子ワイズメンズクラブの8月例会は、例年、直前会長の感謝会とすることになっていますが、本年も、去る8月19日、いつもの八王子市の北



野事務所の集会施設とは全く異なる雰囲気、JR八王子駅南口の居酒屋「安兵衛」で、和気藹々の笑顔が溢れる感謝会を開いてくれました。

皆様のお支えのお陰で、曲り形にも直前会長の責務を全うさせて頂いた私としては、面映ゆい想いで朝から落ち着きませんでしたが、始まってみたら、案ずるより生むが易しで、晴れがましい会というよりは、皆の気持ちが一体となった楽しい会になったので、当日の挨拶でも申し上げた通り、「直前会長に感謝する会」ではなく、「直前会長が(皆様に)感謝する会」にいただき、文字通り感謝・感激でした。



ワイズ歴が未だ十分でない乍も、2度目の会長職を全うさせて頂いたのは、掛け値なしに「八王子

ワイズメンズクラブ関係者の皆様のお陰」です。

感謝会では、恰も私が1年間会長としての奮闘してきたかのように、出席者の皆様から「お疲れさまでした」との温かい言葉を頂きましたが、実際に奮闘してきたのは、改めて言及するまでもなく、ベテランの先輩会員は固より、他ならぬ八王子クラブの関係者の皆さんだったからです。

「八王子クラブの関係者」というのは、持って回ったような言い方ですが、具体的には、八王子クラブが特に力を入れて支援しようとしている中央大学YMCA:ひつじくもの皆さん、担当主事の菅野メンのほかにも会員として加入してくれた佐藤メンが繋いでくれた各地のYMCAの皆さん、あずさ部や東日本区つながりの各地のワイズメンズクラブの皆さん、就中東日本区やあずさ部の理事や

部長やユース事業担当主任等の役員の皆さん、そして、忘れてはならないのは、転居や仕事の関係で表面上八王子クラブを退会した形を取っていても、気持ちの上では依然として会員として時に応じて例会に出席してくれるかつてのメンバーの皆さんのことを意味します。先般の直前会長感謝会には、それらの関係者の主だった方々にも参加を頂きました。

この場をお借りして、八王子クラブを、かくも層が厚く、レベルが高く、奥が深いクラブにして頂くのに貢献して下さった皆さんに(へっぽこ直前会長の)私からの感謝・感激のご挨拶とさせていただきます。



花輪直前会長を囲んで：居酒屋・安兵衛にて

感謝会スマイルの意義

佐藤信也

この度、感謝会にて特別にスマイルを集めさせて頂きました。このスマイルの趣旨は今年東京YMCA山中湖センターが100周年を迎えるにあたり募金に対しご協力をお願いをすると共に、新たな事業部となった居場所事業部への取組についてのご紹介とプログラムへの協力依頼と併せて感謝会スマイルをお願い致しました。

説明がわかりずらかったと思いますので補足説明をさせて頂きます。皆様もご承知の通り、山中湖センターは1923年に日本で最初の常設型キャンプ場として開設されました。以来、東京YMCAの使命を担いつつ、少年から青年、家族、そして障がい児・者へと対象を拡げてきました。ワイズに於いては、特にユース活動の一環としてユースリーダーズフォーラムを山中湖センターを活用しユースをYMCAと共に育てています。当センターは組織キャンプを実施するために設計されたキャンプ場であり、開設以来、YMCAのみならず多くの教育団体にご利用いただけてきました。100周年を迎えるにあたり、今まで以上に幅広い教育団体が高い教育効果を得られるように、より豊かなプログラム提供を可能とするリソースの

充実を図ります。また、従来の団体利用に加え、家族、小グループも利用しやすい施設全般のリノベーションを図ります。以て、より多くの方々がそれぞれの目的に応じて活用しやすい施設、社会に用いられやすい施設を目指し以下の3つを目標に掲げて募金活動を10月より開始予定です。

1. 100周年に100名の子どもたちをキャンプに無料で招待する。
2. プログラム施設の新設
3. 宿泊棟内の各設備のリノベーション

特に1番目の取組の一つとして『外国にルーツを持つ子どもたちのサマーキャンプ』を南居場所・西居場所事業部が計画しました。経済的な理由によりキャンプに参加できない子どもたち、あるいは、外国にルーツをもつ子どもたちなど、様々な理由によりキャンプに参加できない子どもたち100名を無料で招待をします。日本社会で生活をする外国にルーツを持つ子どもたちの中には、言葉や違う文化や背景を背負い、「言葉の壁」による困難さ、生きづらさを抱えている子どもも少なくありません。

今後、居場所事業部として日本で暮らす全ての子どもや若者が、「楽しく」「安心して」「自分らしく」生きられる社会の実現するために、「場」「学び」「機会」を提供します。そのひとつとして、この夏休みには日本で暮らし、困難を抱えている「外国にルーツを持つ子どもたち」に向けたプログラム展開を考えました。国際に興味のある「ひつじくも」(学Y)の学生のボランティア活動としても繋がるプログラムとなるのではないかと期待しています。

今まで八王子ワイズは西東京のボランティアを長年サポートして頂きましたが、これからは新たな居場所事業部へも支援ができるプログラムが生まれつつあります。



早朝の山中湖
メンバーのご長寿
目標 福田さん



AYCへの道

衣笠輝夫メンからのご挨拶

埼玉ワイズメンズクラブ会員で東日本区ユース事業委員の衣笠輝夫と申します。



中大学Y「ひつじぐも」で青山君とは高尾の森わくわくビレッジで、森脇君とは日本YMCA同盟会館で開催された第9回オープンフォーラムYでお会いしていますね。

それから藤原直輝君は今年AYC2023に中大学Y「ひつじぐも」の4人と一緒に参加します。

AYC2023参加者で藤原という名前は2人いるんですね。藤原直輝さんと藤原湧介さん。それから轟千佳さんと岩崎葵さんと田中大翔さんで3人いる。これは画期的なこととして、中大学Y「ひつじぐも」含め東日本区で13人、西日本区で3人、合計16人の日本チームになります。東日本区の13名はこれまでの最多になります。

今までにない16人の日本チームでネパールカトマンズへ行くのすごく楽しいAYC2023になると思います。おおいに楽しんで参加いただき、帰国後の報告会をみんな楽しんでしています。

東京八王子クラブが推薦し支援してくれている中大学Y「ひつじぐも」ですから、いろいろな面でハッピーだと思います。これからもぜひ継続して交流していただきたいと思っています。

森脇啓心副委員長

藤原直輝君 (2年)



青山眞之輔君 (2年)



AYC 現地集合の皆さん



今月の聖句によせて：9月度

1977年、日本キリスト教社会事業同盟に加盟する、全国の養護施設の中高校生のキャンプを、YMCAが全面委託され、戸隠高原で実施したことがありました。YMCAの学生ボランティアでリーダー会を組織し、目標の設定、プログラムの企画から実施評価にいたるすべてを担当しました。4泊5日のキャンプで、参加者は、全員現地集合、現地解散で、同じ施設以外のメンバーは全員初対面。しかも、殆どの参加者は、自発的な参加の動機はなく、行けといわれたから来た、というもので、はじめの自己紹介の場面のしらけ切った雰囲気からリーダー達は困惑するばかり。それでも、めげないリーダーたちの努力で徐々に和やかな雰囲気は芽生えてきました。養護施設の集団生活で育った少年たちは、総じて依存的で自立心に欠ける傾向がみられます。このため、リーダー会でプログラムの目玉は最終日の「戸隠登山」とされました。一人で進まなければならない「鎖場」などもある、かなり険しい山です。

前夜、翌朝の3時出発に備えて、リーダーたちは誰ともなく、メンバーの靴の点検を黙々と始めました。登山靴などはありません。ズック靴で中には破れたものもあります。針と糸で治せる部分は丁寧に直していきました。危険を伴う登山を前に、誰にも緊張感が漂っていました。付き添ってきた施設の指導員もいて、この光景を驚きの目で見ていたのを思い出します。このとき、なぜかふと、わけもなく漠然と頭に浮かんだのが、今月の聖書の箇所でした。「私があなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合うべきである」。黙々とメンバーの靴を直し、整える背中に、イエスの言葉を実践する、リーダーの姿を見たような気がしたのです。

結局、登山は、天候不良で危険ということで中止としました。(中止としたことでなぜかホットとした自分があることを自覚していました。そして、YMCAのボランティアリーダーは若くとも心から尊敬できる存在であることをあらためて確信しました)

並木 信一

わくわくビレッジ便

担当主事 菅野牧夫

まだまだ暑い日が続いていますが、虫の鳴き声や朝晩の風に秋の訪れを感じるようになってきました。暑かった夏もやっと終わりが近づいてまいりました。

わくわくビレッジではこの夏に2つのキャンプを無事に開催することができました。1つは小学生を対象とした「わくわくの森キャンプ」、もう一つが中高生を対象とした「わくわくの森 YOUTH CAMP」です。わくわくビレッジ19年間の歴史の中で、小学生キャンプに参加した子ども達が、キャンプの楽しさに目覚めて YOUTH CAMP に参加して、リーダーのお兄さん、お姉さんにあこがれて、大学生になった時にリーダーとしてわくわくビレッジにかかわる流れができてきました。東京都は青少年の「社会を生き抜く力」をはぐくむためには、多様な自然体験活動や社会体験活動への参加を重要視しています。まさにキャンプは自然や社会性を実体験する最適な場だと思っています。あとは卒業した後にスタッフとしてわくわくビレッジを支えてくれるようになれば流れが完成するのですが、そこはなかなかうまくいきません。

話は変わりますが、9/23(土)に実施される東京 YMCA インターナショナルチャリティーランの申し込みが完了しました。八王子ワイズからの補助もいただき無事に出走できるようになりました。ありがとうございました。ランのイベントには八王子ワイズの会長である並木真さんご夫妻、ひつじぐもから藤原さん、YM サービスから佐藤さん、元わくわくビレッジ館長の古市さん(予)、そして私の6名が出場します。ワイズの皆さん、ひつじぐもの皆さん、私たちの応援にいらっやいませんか？江東区木場公園イベント広場で12時に競技開始となります。皆様の応援の声が私たちの足を強めてくれます。公園で皆様のお越しをお待ちしています。よろしくお祈りします。

ひつじぐも便

「中大生とあそぼう!!夏休みクイズラリー」

法学部2年 青山真乃介

8月19日に愛宕かえで館で行われた「中大生とあそぼう!!夏休みクイズラリー」の運営ボランティアに、私たちひつじぐもが参加しました。イベントの内容としては、多摩市に関するクイズを用いたクイズラリーや、多摩の名物である多摩そばづくり、貝殻・松ぼっくりを使った夏休み工作、すごろくや釣りゲームで防災を学ぶ防災ゲームなどと、多種多様なイベントがありました。その中でも私は主に、クイズラリーを担当しました。クイズは全部で五問あり、すべて答えてスタンプの文字を並び替えたなら、景品がもらえるといったものでした。クイズは比較的簡単なものもありましたが、中にはこれはよっぽど博識じゃないと解けないだろ！という結構難しい問題もありました。そういった問題を担当した際には、正解にたどり着けるようになるべく分かりやすいヒントを出しました。クイズに来た子どもたちが一生懸命考えていたり、一緒に来た友達と相談しあっていたりと、楽しそうに取り組んでいた姿が印象的でした。他の場所にはあまり行くことがなかったのですが、少し見に行った時には、わいわいと話しながら工作やゲームをしている子どもたちや学生スタッフの人たちがいました。またイベント途中に、地域の学童の子どもたちが大勢来てくれて、とても活気あふれていて、みんな楽しそうに館内を回っていました。このような楽しい雰囲気は始終イベント全体に広がっていて、参加してよかったなと感じました。

今回のボランティアでは、ただ自分たちだけで来てくれた子どもたちや保護者の方と交流するだけでなく、かえで館の方々や私たちと同じ中央大学の学生スタッフ、ボランティアセンターの人たちとの協力によってうまくいったのだなと強く感じました。多くの人たちと交流を深めたり、コミュニケーションをはかることは、普段の生活ではなかなか経験することがないので、貴重な経験ができて良かったと個人的に思いました。

仲良く誕生祝い 森脇君・青山君



東京YMCA 近況報告 9月 菅野牧夫

1. 8月7～11日、「キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAタラグオンキャンプ場で開催され、東京YMCAからは小学生5人と引率スタッフ2人が参加した。韓国をはじめアジア各国からの参加者とサッカー試合やレクリエーション、韓国文化体験等を通して交流を深めた。
2. 7月30日、「下町子どもダイニングスペシャル」を東陽町コミュニティーセンターで開催した。日頃「下町子どもダイニング」のプログラムで子どもたちのゲーム指導を担っているボランティアリーダーに加え、夏休みを利用してボランティアを希望する高校生・大学生15人が集まり、当日の準備、調理、配膳、ゲーム指導、片付けを行った。
3. 今夏は幼児から高校生、及びファミリーを対象に、山中湖センター、野尻キャンプ、高尾の森わくわくビレッジを中心に10の宿泊キャンプと日帰りキャンプを実施し、延べ約500名が参加した。また海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの3コースに小学3年生から高校生を合わせて約30名が参加し、無事に終了した。
4. 今後の主な行事日程
 - ・「関東大震災 第100周年記念追悼合同早天祈祷会」
9月1日 7:30～8:30
会場:在日本韓国YMCA9階ホール
奨励:金性済牧師(日本キリスト教協議会総幹事)
 - ・「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ:回復力のあるコミュニティとして共に歩むー
Vision2030を通しての生き方の変革
会場:インド・チェンナイ
 - ・「第26回会員芸術祭」(オンライン芸術祭)
9月～10月(東京YMCAのHP上に掲載)
 - ・「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン):9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン):
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園):9月23日

【クラブ8月第二例会報告】 書記:小口

日時:8月26日(土)6:00～7:00 北野事務所小会議室、
司会:久保田 出席者:(敬称略)久保田、花輪、佐藤、山本、稲葉、長谷川、小口(7名)

欠席者:並木真、大久保、茂木、菅野、並木信一、望月

<報告事項>

- ① 8月19日直前会長(花輪さん)感謝会、A班担当、「安兵衛」にて、出席19名
ゲスト(ユース事業 衣笠さん、福田さん)ひつじくも(青山さん、森脇さん、藤原(直)さん)
スマイル(YMCA 山中湖センター100周年を)14,000円、9月分と一緒に。
- ② AYC(8月25～29日)ネパール、カトマンズへ日本から16名参加(内、ひつじくも5名)。

<協議事項、予定>

- ① 9月第1例会:担当B班(久保田)日時:9月9日(土)北野事務所、食事なし。パワポの用意
卓話者:横森佳世氏「日本の国際貢献」東京農工大学グローバル教育院准教授、UNHCR、JICA
 - ② 10月第1例会:担当C班(並木(信))
日時:10月14日(土)13時～15時、食事付き
会場:高尾の森わくわくビレッジ、
森本あずさ部部长公式訪問、
卓話者:森本俊子部長
 - ③ 11月第1例会:担当A班(小口)
日時:11月11日(土)
ひつじくも AYC 参加報告会 会場は未定(北野事務所 or わくわくビレッジ)パワポの用意
 - ④ これからの卓話者紹介・佐藤さんから、YMCA 山中湖センター100周年事業の話を担当の
鳩山哲郎さんに(100周年プログラムの実情と今の状況から将来の展望)2024年2月例会で。
 - ⑤ 来年3月チャリティーコンサート:(CS担当:花輪)
日時:2024年3月9日(土)会場:北野市民センター
ポスターチラシ、チケットのメンバー配布 12月第一
 - ⑥ 恒例、コンサート前の街頭募金のこと
日時:2024年3月2日(土)場所:JR八王子駅北口、時間未定 場所の届けを並木信一さんに依頼、当日の横断幕の作成依頼を佐藤さん依頼。
 - ⑦ あずさ部第2回評議会 2月10日(土)ホスト・東京八王子クラブ 会場:わくわくビレッジ
 - ⑧ 今年度クラブ(改定)予算案配布・会計、長谷川さん
- ### <その他>
- ① YVLF 9月29～10月1日 場所:YMCA 山中湖センター 参加・小口

- ② 第26回東京YMCA 会員芸術祭(オンライン芸術祭)会期:9月上旬～10月の予定
- ③ パネル展「賀川豊彦と関東大震災～ボランティアのはじまり」
会期:8月29日～9月10日水曜休日、日本キリスト教団銀座教会
- ④ 東京YMCA チャリティーラン開催
・チーム駅伝大会、9月23日(土)江東区木場公園
参加走者・並木(真)、美奈子、佐藤、菅野、ひつじぐも1名、会場・長谷川
・個人・オンラインウォーキング参加 9月16日～23日 参加・久保田、稲葉、山本、小口
- ⑤ あずさ部部大会(長野) 詳細は右欄に
申し込み締め切り 9月28日
- ⑥ 東京YMCA 山中湖キャンプ場開設100周年記念キャンプ 10/27～29日中高生30名招待
八王子クラブよりスマイル(8～9月分)寄付
- ⑦ ワイズ、アジア地域大会・香港 11月3日～5日参加・久保田、並木(真) (以上)小口

9月の誕生

大久保重子さん 9月12日

9月卓話者紹介

横森佳世氏

東京農工大学グローバル教育院准教授。大阪大学大学院国際公共政策研究科修士、ケニヤッタ大学大学院公衆衛生及び疫学研究科修士。住友銀行勤務後、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)でのネパール・ブータン難民キャンプ支援事業を皮切りに、国際NGO・AMDAやJICA 専門家として、バングラディッシュ、ミャンマー、ケニア、ウガンダ、ルワンダ、ガイアナ、ガーナ等での緊急救援事業や開発事業に従事した後、2018年より現職。

2023-2024 年度 第27回あずさ部部大会のご案内

長谷川あや子

日頃のワイズメンズクラブ・YMCA へのご奉仕に感謝申し上げます。

例年のない猛暑の日々でしたがお元気でお過ごしのことと存じます。

第27回あずさ部部大会を下記の通り開いたします。

多くの方のご参加をお待ちしております。

～～～記～～～

日時:2023年10月21日(土) 12:00～15:30 (登録開始 11:30)

会場:善光寺事務局3階講堂

<https://goo.gl/maps/fdv8pzsrbU29xEp8>

会費:5,000円

プログラム

第一部 式典

第二部 懇親食事会

第三部 記念講演 「平和の架け橋プロジェクトの今」
福島 貴和(長野クラブ)

第四部 公演-落語、日本舞踊、邦楽コラボレーションによる「お血脈」～善光寺由来の一席

各クラブでまとめてご記入の上、下記宛メール又はFAXで9月28日までにお申し込み下さい。

長谷川あや子(あずさ部書記・東京八王子クラブ)

E-mail ayakoh3@nifty.com

T/F 042-771-6962

